

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費

事業名【新】三次元CADシステム導入費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設情報係 電話番号：058-272-1111(内4570)

E-mail：c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 R5要求額 5,208 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R5 要求額	5,208	0	0	0	0	0	0	0	5,208
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では、ICT活用推進のため、平成29年度よりICT活用モデル事業に着手し、令和3年度までに約200現場において取り組みを実施した。ICT工事の実施に伴い、現場管理のために取得した三次元データは、工事成果物として納品されているが、その中身を確認するPCも三次元CADもない。

このため、三次元データを取り扱うことができるハイスペックなPC及び三次元CADが必要である。

(2) 事業内容

- ・三次元データを取り扱うことができるハイスペックなPC及び3次元CADを調達し、工事成果物を確認する。
- ・PC、HD各1台、3次元CADは1ライセンスとする。

(3) 県負担・補助率の考え方

財源は補助は無く、県負担のみである。

(4) 類似事業の有無

東京都、山梨県、富山県、石川県、静岡県、愛知県、京都府、徳島県、長崎県では、三次元CADを調達し、データの二次利用を進めている。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,095	3次元CADの保守325、データ管理料1,770
使用料	165	ARK GIS(サブスクリプション)
備品購入費	2,948	ハード (PC)、ソフト
合計	5,208	

決定額の考え方

事業実施の効果が見通せないため、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」(令和4年3月公表)

(2) 他県の状況

・東京都、山梨県、富山県、石川県、静岡県、愛知県、京都府、徳島県、長崎県では、3次元CADを調達し、データの二次利用を進めている。

(3) 後年度の財政負担

R6年度からR9年度までランニングコスト(保守費用)が発生する。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・事業主体は県。
- ・取得した3次元データは県の所有物であるため。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・令和5年度中に、PC, HDを各1台、三次元CADを1ライセンス購入する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	

○指標を設定することができない場合の理由

PC、HD及び3次元CADの導入であり、特に指標となる数値は無い

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 R6年度からR9年度までランニングコスト (保守費用) が発生する。 三次元CADを操作できる人材の育成が必要となる。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ICT活用工事の更なる推進やデータの利活用のため、三次元データを取り扱うPC及び3次元CADの導入を拡大していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

【〇〇課】